

**第35回能美市地域公共交通会議  
議事録**

日時：令和3年11月26日（金）13：30～15：00

場所：辰口福祉会館 交流ホール

参加者：

	所 属	氏 名	備 考
学識経験者	金沢大学名誉教授	高 山 純 一	会長
議会	総務産業常任委員会委員長	仙 台 謙 三	
市民又は 利用者代表	根上地区町会長会 会長	山 先 満 広	
	寺井地区町会長会 会長	重 田 勝 年	
	辰口地区町内会長会 会長	伴 場 博 夫	
	北陸先端科学技術大学院大学 総務課長	澤 川 浩 之	欠席
	石川県立寺井高等学校 教諭	寄 島 昭 生	
	能美市老人クラブ連合会 会長	坂 本 孝 一	
	能美市婦人団体協議会 会長	石 田 晴 美	欠席
事業者	能美市PTA連合会 顧問	南 昭 宏	
	北鉄加賀バス（株） 代表取締役社長	新 谷 良 二	欠席
	北鉄白山バス（株） 取締役社長	田 口 成 樹	
行政	一般社団法人石川県タクシー協会 専務	宮 崎 芳 信	
	国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局 主席運輸企画専門官	長 谷 川 寛 和	
	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 交通政策課 主任企画員	島 内 理 名	
	石川県南加賀土木総合事務所 維持管理課長	野 口 真	
	能美警察署 交通課長	安 田 悠 希	代理
	能美市 副市長	番 匠 啓 介	副会長
	能美市 企画振興部長	中 出 真 弓	
	能美市 土木部次長兼土木課長	中 川 真	
能美市 健康福祉部次長兼福祉課長	南 芳 美	代理	
事務局	能美市 企画振興部地域振興課長	杉 浦 良 道	
	能美市 企画振興部地域振興課主査	前 川 正 樹	
	能美市 企画振興部地域振興課主事	北 野 利 晃	
	能美市 企画振興部地域振興課主事	藤 田 憲 太 郎	

## ■議事

### 1. 開会

【司会（杉浦）】：

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第35回能美市地域公共交通会議を始めさせていただきます。本日の司会を務めます地域振興課の杉浦です。よろしくお願いたします。皆さまにお願いですが、本日は、会議録作成のため、ボイスレコーダーにより音声を記録させていただいております。発言の際はお手数ですがマイクを使用させていただきたく、事務局がマイクをお持ちしていますので、挙手にてご協力をお願いいたします。よろしくお願いたします。失礼ですが座って説明させていただきます。

この度は能美市地域公共交通会議の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。本来であれば、お1人ずつ委嘱状をお渡しさせていただくところではございますが、時間の都合上、事前に皆様のお席に置かせていただいております。ご了承ください。

また資料についてですが、先般お送りいたしました本会議の開催のご案内には資料を事前送付すると記載しておりましたができず、大変申し訳ございませんでした。

それでは、皆様のお手元でございます資料のご確認をまずさせていただきたいと思っております。

初めに、A4縦の会議次第。次に、委員名簿。次に、能美市地域公共交通会議設置要綱、そして本日の会議にご出席の皆様の座席表さらに、A3横の資料1、令和3年度辰口中学校冬季通学バス運行について、さらに、資料2、報告事項についてが準備されているはずですが、ご不足はございませんでしょうか。

それでは最初に、当会議の開催に先立ちまして、能美市副市長、番匠啓介がご挨拶を申し上げます。よろしくお願いたします。

### 2. 挨拶

【番匠副市長】：

皆様こんにちは。副市長の番匠でございます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本来であれば昨年も1回こういう会議があるはずだったんですけども、コロナ禍のため昨年は書面で表決させていただきました。本日は能美市コミュニティバス「のみバス」の近況についてこの後紹介させていただきます。

昨年の4月1日に大幅にダイヤを改正いたしまして、ルートもあわせて改正いたしました。今年の3月中旬にはバスロケーションシステムを導入することで、利便性の向上を図っております。あわせて、バス車両を3台更新いたしまして、より快適にご利用いただけるようになりました。

さらに10月中旬にはのみバスを利用した市内の観光や周遊を促す案内看板をJR能美根上駅の東口に設置したことや、利用ガイドなどのチラシを刷新し、見やすくわかりやすいものとなっております。

本日の議題でございますけれども、協議事項として令和3年度辰口中学校冬季通学バス運行について、報告事項が数件となっております。本日は、委員の皆様にお集まりいただいて、能美市の公共交通について協議する貴重な機会でございます。皆様の専門的な視点、または地域住民としての視点からご意見いただければと思っております。それでは本日はどうぞよろしくお願いたします。

### 3. 委員紹介

【司会（杉浦）】：

どうもありがとうございました。

なお、番匠副市長は本日公務のため14時45分頃に退席となります。ご了承ください。

それでは、本日ご出席をいただいております。当会議の委員の方のご紹介をさせていただきます。お手元にお配りしております、委員名簿順にお名前をお呼びいたしますので、その場にて、ご起立の上、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。その際は、そのままお話しください。よろしくお願ひいたします。

－事務局より委員紹介－

皆様ありがとうございました。なお、本日、能美警察署交通課長の安田委員の代理として辻様、能美市健康福祉部次長兼福祉課長の南委員の代理として亀田さんに出席をいただいております。よろしくお願ひいたします。

また、北陸先端科学技術大学院大学総務課長の澤川委員、能美市婦人団体協議会会長の石田委員、北鉄加賀バス株式会社代表取締役社長の新谷委員は所用のため、残念ながら欠席となっております。ご了承ください。

### 4. 会長・副会長選任

【司会（杉浦）】：

続きまして、当会議の設置要綱に基づきまして、当会議の会長の選任に入りたいと思います。

誠に僭越ではございますか、事務局にて会長を指名させていただきたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

ありがとうございます。それでは、金沢大学名誉教授の高山委員を会長に指名させていただきたいと思いますが、皆様ご異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

ありがとうございます。それでは会長を高山委員にお願いすることといたします。高山委員よろしくお願ひいたします。

続きまして、当会議の設置要綱に基づき、高山会長より、副会長をご指名いただき、副会長の選任を行いたいと思います。高山会長、副会長のご指名をお願いいたします。

【高山会長】：

はい。それでは副会長を指名したいと思います。能美市副市長の番匠委員に副会長をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【司会（杉浦）】：

皆様ご異議がないようでしたら、拍手をもってご承認をお願いいたします。

【委員一同】：

(拍手)

【司会（杉浦）】：

どうもありがとうございました。

副会長を番匠委員にお願いすることといたします。番匠委員よろしくお願ひいたします。

ここで新会長に選任されました高山新会長より一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。高山会長よろしくお願ひいたします。

【高山会長】：

はい。会長を仰せつかりました。高山でございます。私もずいぶん能美市との関わりが長くてもう何年やったか忘れたぐらい。20年以上になるのではないかなと思ひます。のみバスの運行そのものを平成21年度ぐらいから始まってますのでもう10年以上運行しているかと思ひます。能美市地域公共交通会議の会長も、これで何期目になるのか、5.6期目になるのではないかなと思ひております。

皆さんご承知のように最近、ニュースで高齢者が痛ましい事故を起こすというのを頻繁に目にします。その都度もう高齢になったら免許返納すればいいじゃないかという意見が随分あります。地方ではなかなかそれがうまくいかないのも事実でありまして、なぜかという、免許がないと、もう手足をもがれたように、好きなところに行けなくなるからだと思ひます。そういう意味では、都会と違って地方というのは、地域公共交通が非常に脆弱といひますか貧弱といひますか、自分の行きたいところになかなか行くバスがすぐないというのが実態だからだろうと、こんなふうと思ひています。ただ、能美市は地方都市の中でも非常に地域公共交通がしっかりした市の一つだと私は思ひています。のみバスが10年ちょっと前から運行されて非常に都会のように、もう何十分に1本っていうわけにはいきませんが、それでも以前は2時間に1本くらいはありまして、最近はまだ1時間に1本来るような形で、多様化もしました。そういう意味では、おそらく県内の中では有数の、金沢市なんかを除けばですけど、地方では非常に便利な地域公共交通バスが運行されている都市の一つではないかと思ひてます。

ただ、こののみバスも皆さんが支えて乗らないと、市が運行してますので、そういう意味では今でも赤字といへば赤字なんですけれど、それでも、せつかく税金で運行しているバスですので皆さんが乗って支えるというのが非常に重要ではないかと思ひています。おそらく収支率といひますか、経費と運行に係る経費と運賃、その割合を収支率と言ったりしますけど能美市の場合は10数%ぐらいはあるのではないかと思ひています。能登の方へ行くと、もう10%を切って5~6%という町もあります。そういう意味からすると、他の市のこと言っちゃ怒られるんですけど、珠洲市はもう料金を取らずに運行した方がいいんじゃないか、という実験を始めています。それも一つの選択肢かなと思ひます。なるだけ費用を抑えて、みんなで支えるバスを地域で運行するという考え方で運行の実験をやってますけれど、それも一つの考え方ですので、地域地域に合った地域公共交通というのを守っていくということが非常に重要ではないかと思ひています。

少し話が長くなりましたけれど、この地域公共交通会議という会議はそういう意味では非常に重要な会議ですので、ここで上がってくる案件協議事項というのは慎重にご審議いただければと、このように思ひます。よろしくお願ひいたします。

【司会（杉浦）】：

どうもありがとうございました。それでは、これ以降の議事進行につきましては、当会議の設置要綱に基づき、高山会長にお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

## 5. 協議事項

【高山会長】：

はい。それではお手元にあります会議次第に沿って進めたいと思います。まず、5番の協議事項です。協議事項第61号、令和3年度辰口中学校冬季通学バス運行について内容の説明を事務局よろしく願います。

－事務局（北野）より資料説明－

- ・資料1 令和3年度辰口中学校冬季通学バス運行について

はい。それではただいま事務局から説明をしていただきましたが、何かご意見或いはご質問があればお受けしたいと思います。何かございますでしょうか。はいどうぞ。

【重田委員】：

はい。単純な質問ですけれども、通学のバスは、関係者は運転手1名なんですか。いわゆる添乗員というか、フォローする人っていうのはいるのかいないのか。

【事務局（北野）】：

お答えいたします。一つの車両につき乗務員が1人当たっていただくような形で、1車両につき1人となります。

【重田委員】

中学生だからね、自分で乗り降りできるから。

【高山会長】：

はい。他いかがでしょうか。何かございませんか。では私から一点だけですが。

3ページに、米印があって朝の国造方面からの乗車数について、昨年度と同様に和光台での乗車で1台の定員を超えることが予想されるため、和光台から後続便を出し、合わせて2台で運行するというふうになっておりますが、今年もこのようにされる予定なんですか。

【事務局（北野）】：

はい、お答えいたします。今年度につきましても、和光台から後続便を増便でお出しして、和光台から国造方面については2便で、2台で運行することを想定しております。

【高山会長】：

はい。定員を超えるというのは事前のアンケートで、回答した人数を想定すると、ということなんで

しょうか。

【事務局（北野）】：

はい、お答えいたします。昨年度なんですけれども、国造方面の対象生徒が102名で和光台の生徒が75名だったんですけれども、今年度は、資料にもございますが、国造方面の対象生徒数が91名に対してうち和光台の生徒が73名ということで例年並みの利用を想定しておりますので、例年と同じように和光台から増便ということで、実施したいと考えております。

【高山会長】：

はい、わかりました。ありがとうございます。他いかがでしょうか、何かございませんか、お気づきの点。はいどうぞ。

【南委員】：

帰りの時刻なんですけれども結局この国造方面は、岩本灯台笹方面のバスを使って次に、このまま使うってことになってるんでしょうか。

【事務局（北野）】：

はい。夕方の便につきましては、1台で順番に運行するというような形で、岩本灯台笹方面を運行した後にその車両が物見山総合体育館に戻ってきて、6時40分出発で国造方面を回るというような、スケジュールになっております。

【南委員】：

今ほど先の質問でありました、行きが2台になる、和光台方面行きは2台向こうから来るってということなんですけれども、帰りには2台にしなくても足りているということでしょうか。

【事務局（北野）】：

そうですね、帰りの利用者数につきましては、1台乗車定員が33名なんですけれども、その乗車定員を超えて利用されるということがありません。例年ありませんので、帰りの便については1台でということ想定しております。

【南委員】：

ありがとうございます。

【高山会長】：

はい。他いかがでしょうか。ありませんか。はい、じゃあ他に質問がないようですので、第61号の協議事案については、このまま承認するという事によろしいでしょうか。特に異議がないようございますので、61号については承認するという事にしたいと思います。どうもありがとうございました。

## 6. その他報告事項

【高山会長】：

それでは協議事項は以上ですので、続きましてその他の報告事項に移りたいと思います。報告事項について事務局から説明をお願いいたします。

－事務局（北野）より資料説明－

・資料2 報告事項について

【高山会長】：

どうもありがとうございます。ただいま事務局から説明をいただきましたが、この報告事項の内容について何かご意見ご質問があればお受けしたいと思います、いかがでしょうか。はいどうぞ。

【坂本委員】：

老人会の坂本といいます。午前中に理事会がありまして、その中で、今日の会議の前振りがきました。バスは2年ほど前から話に出してるんですけど、バスは一方通行に走っているんですね。あと一方通行ということで自分が風呂行くのに、5分10分でバスに乗って行けるんですけど、帰り1時間かけて一方通行だからずっと回って一時間かけて戻ると湯冷めになると。だから、せめて反対回り、さっき聞いていた、予算がかかるんで両方できない。となれば、土日祭日は反対回りのバスをこっちの方へ回してちょっと試験的にやってもらえることができるのか。これだけガソリンの価格がどんどん上がっていつてる中で、年寄りって少しでもお金を出したくないんで、やはりバスに乗って少しで行けるところがあれば自家用車でなくてバスでいきたい、というようなことがあるんじゃないかと。

そう思ったときに、何かそういう案を、反対回りも、毎日とは言わないけど、この何曜日と何曜日は反対もありますよと、いったような案が出ないものかなと思っておりますけど、いかがですか。

【高山会長】：

事務局いかがでしょうか。

【事務局（北野）】：

はい。今現在のバスのルートなんですけれども、循環ルートというバスについてはずっと一方方向をぐるぐると回るような運行ルートとなっております。なので、今おっしゃいましたように目的地まで行きは10分で行けるけど帰りは50分かかってしまうというようなことがあります。曜日によって運行ルートを逆回りにするとかっていうことも、この度こういった貴重なご意見として受けとめさせていただきます。今後のみバスの運行ルートの見直しの際の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

【坂本委員】：

もう一つだけお願いします。無理な話だとは思いますが、理事会の中で出たことは、老人会は

いま新規募集という作業を今始めたんですけれども、まだ入ってない人が半分近くおいでということ、老人会へ入るといふ、その老人会そのものの活動は交通とかいろんな面での活動をしてるんですけども、そういった中で、無料バスの券を老人会に少し割り増ししてもらえんかと。老人会の会員に対してそうすれば会員も少しは増えていって、みんなと一緒に行動できるんじゃないかっていう話もあるんですけども、そういう意見が出ました。

だからそういう特別なことはできないとは思いますが、またそういう老人会の努力、いつもやっていることに対しての何かちょっと予算を組んで、ちょっと老人会の会員に余計目に出しますよと。

無料券はね。というようなことができれば。今度の理事会で胸を張っていえると思います。よろしくお願いします。

**【事務局（北野）】：**

冒頭の高山会長のお話にもありましたが、現在運転免許証の返納をにあたって、高齢者の方の足というところが言われてると思うんですけども、ご意見頂戴しましたような内容で無料券とかっていうことも、検討はしていきたいと思えます。ありがとうございます。

**【高山会長】：**

はい。他いかがでしょうか。何かはどうぞ。

**【仙台委員】：**

資料2の報告事項について質問をさせていただきます。まず、3ページ目のクアハウス九谷バス停名称変更についてなんですけれども、一つ、クアハウス九谷バス停、今待合室があるかと思うんですが結構老朽化が目立っておるということで、これをかなり利用されておられる方から一応老朽化が目立つよねということでお声をいただいております、新しく新設をするなりして欲しいというふうな要望を承っておりますが、こちらで質問させていただくのが適切かどうかわからないんですけども、そのようなお声があるということが一つ。そしてもう一つ4ページになりますが、寺井バス停の移設についてこれはこれで適切に確認をしていただきながら、対応されておればそれで良いかと思えますが、市内にですね他に危険と思われるまたそれに準ずるようなバス停はないのか。またおそらく寺井地区内だと思うんですがバスの乗り降りする場所ですねバス停のところですね、なかなかこれ、この狭いスペースで乗り降りをして、バスの隙間を縫って移動されるときかなり安全面に気をつけなければいけないかなってような箇所があるかとは思いますが、それに対して市の認識といいますか危険なバス停は国に指定しているものはないと。それはそれでいいとしても、その他に何か気づいた点とかあれば教えていただければと思えます。

**【事務局（前川）】：**

危険なバス停の話ですけども、今年の3月の国の調査でいろいろ指摘があったんですけども、そのABCと3段階のランクがございまして、県内ではAランクが19ヶ所。その内の1ヶ所が今の北鉄バスさんのバス停と重なって同じ場所にある能美バスのバス停も該当するんじゃないかということで能美市ではこの1ヶ所となっております。B、CはなくてAランクの1ヶ所のみとなっております。



【事務局（杉浦）】

泉台のバス停の件だと思います。老朽化の件で安全性のために今年度撤去するようなことを聞いております。担当は福祉課でありまして、福祉課の方が泉台の町会長さん、泉台の町会と協議を重ねた中で撤去の方向に進んでいるというふうに聞いておりまして、そういう声があり、要望があるということは福祉課長からも少しは聞いておりますけれども、戻りましたら福祉課の方に公共交通会議でこのようなご意見があったということはお伝えしたいと思います。

担当課は申し訳ありませんが福祉課なので、対応できるとかはちょっと申し上げられなくて申し訳ありませんが、こちらの方から説明をさせていただきます。

【仙台委員】

はい、ありがとうございます。今の件ですけれども一応福祉課が担当ということで、それは承知をいたしました。泉台の町会長さんに確認をされたということですが、このバス停、例えば待合室を利用される方は泉台の方があまりないのではないかなというところで、聞いた話では、辰口地区にお住まいの方がこのバス停待合室を利用されるというところで、なくなると不便だなというお話を伺ったことがございますので、今後、様々なその所管とか担当とかあるかというふうに思うんですけれども、安全面に配慮されたスペースであろうかというふうに思いますので、利用者目線に立って、バス停の所在の町内会長さんということではなくて、当然確認は必要なんでしょうけれども、利用者目線に立った対応をお願いをしたいと思います。以上でございます。

【高山会長】：

はい。他に何かございますか。はいどうぞ。

【伴場委員】：

今の安全面での質問にちょっと関連するんですけども。この寺井バス停の移設についてですけども、今まで横断歩道のフットライフ UNO ですか。ここに横断歩道があってそこに北鉄とのみバスの停留所があったわけなんですよ。それが危険だからということで、横断歩道が移動することによってバス停を移動せざるを得なくなったということですよ。今までここにあって、良かったんだかどうか、ABC と先ほど説明がありましたけれども、これまではこういうところにあっても差し支えなかったのかどうか。能美署の方からもし説明ができるのであればしていただきたいですし、今までの安全面というお話ありましたけれども、この横断歩道とかこういうものに限らず、ぜひ幾つあるんですかねバス停全体がそれで、待ってるお客さんも含めて、あるいは降りたり乗降するそういったときも含めて、やっぱり安全面でそれでいいのかわかるかチェックする必要も出てきてるんじゃないかなというふうに思いますので、ぜひ市の方で全体のバス停の安全性を、やっぱりもう一度確認いただければありがたいんじゃないかなというふうに思います。よろしく願いいたします。

【高山委員】：

はい。能美警察署から。

【安田委員代理 辻氏】

はい。能美警察署の交通課の辻と申します。この移設業務にも担当しておりましたので回答させていただきます。ここの横断歩道については危険なバス停というものの基準が、バス停と横断歩道交差点が約5メートル以内だったりすると、バス停にバスが停車した際に横断歩道にかかったり、横断歩道の手前にバス停があるとバスが停留した際に、どうしてもそのバスを追い越そうとする車がとても多く、バスを降りました、その前に横断歩道があった場合はお客さんが止まっているバスのその前の横断歩道を横断すると、そのお客さんが、バスを追い越してきた車とぶつかるという現象が多かったので横断歩道とバス停は離しましょうということで危険なバス停を報道機関が取り上げたことによって、危険なバス停をなくしていこうという取り組みが進んでおります。能美の場合は、のみバス停に1ヶ所という形になっておりますので、今回はバス停を離すか横断歩道を離すかということで最初はお話が進んでいたのですが、フットライフ UNO さんの前のバス停を移動させるのが周りの地域住民から、ここ親しみあるので移動させないで欲しいという声が強かったもので、横断歩道の方を移設するという形でまとまりました。中学校さんだったりですね、町内の方にも御協力をもらいましたので移設という形になっております。そもそも、ではなくなったからといってそこを使う方は、ここを横断される方はそのまま横断されると思うんですが、中学校の学生さんが主に横断されていることでそこを横断歩道がなくても、歩行者は、法律的には横断をしても大丈夫な場所ではあるんですけども、何が一番危険かって、横断歩道を渡る渡らないではなくて、停留しているバスの直近を渡るっていう行為が危険であるということで今に至っているということなので、中学校さんの方にはバスの周りは絶対に横断しないようにということは指導徹底をしておりますのでそういう形になっております。

【高山会長】

はい。他いかがでしょうか。何かございますか。よろしいでしょうか。

はいどうもありがとうございました。

他にご意見ご質問もないようでございますので、今日準備した議題報告は全てこれで終了しました。議事の進行にご協力いただきまして誠にありがとうございます。それでは進行を事務局へお返ししますのでよろしく願いいたします。

## 7. 閉会

【司会（杉浦）】

はい。高山会長ありがとうございました。それでは、以上で第35回能美市地域公共交通会議を閉じさせていただきます。本日はご多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございました。気をつけてお帰りください。今日はありがとうございました。

以上